

# Kotoh's News

～ 学び舎は古いが、やることは新しい ～

## 湖東高校の グローバル ハイスクール プロジェクト

湖東高校では、生徒自身が実際に様々な格差や差別で困っている人と接することにより、社会の抱える問題を理解し、自分がどのような形で実社会と関わることができるかを体験を通して学んでいきます。



東ティモール、ライメラ集落のコーヒー豆収穫オンラインツアー

## \* フェアトレード(Fairtrade、公正な貿易)

### (1) フェアとはなにかを身近なところから考えます。

皆さんは、フェアと言えば、スポーツでフェアプレイという言葉がイメージしませんか。「フェア(公正)」な社会が担保されなければ、世界中の人々が安心して日常生活を送り、個々の能力をいかに発揮することはできず、持続可能な社会づくりは実現されません。そこで、湖東高校は身近なところから「フェア(公正)」について考えます。



ラオス コーヒー農園



東ティモールコーヒー農園



徳之島農園

## フェアトレードとは？

貧困のない公正な社会をつくるために、途上国の経済的社会的に弱い立場にある生産者と経済的社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行う貿易です。



## 国内研修

徳之島のコーヒー農園にて持続可能なコーヒー栽培について学び、開発途上国の栽培について考えるきっかけとします。



## 海外研修

ラオスのコーヒー農園の人たちとのオンライン交流や東ティモールのコーヒー農園のオンラインツアーによりフェアトレードについて学び、実際に商品を宣伝、販売します。

農作は喋れなかつた  
何度か質問を受けて  
深く考えて・・・  
自信を持つてなった

湖東高校で身に付けよう！

## (2) 世界のグローバル化にともなう多文化化

世界中の人々と人種、ジェンダーを超えてともに学び、暮らし、働き、多文化共生社会を実現するという目的で、湖東高校では特に多文化化、多文化共生について考えます。身近な地域である浜松の多文化状況を一緒に知っていきませんか。

## (3) 多様性の理解

湖東高校では、自分自身の価値観を振り返ると共に、他者の価値観の多様性を実感していきます。答えは一つではなく、自分と異なる意見も間違えではないことを理解していきます。

## (4) マジョリティとマイノリティ

文化、個性、意見の多様性の尊重は、国際社会が健全に成立するための基本であり、多文化共生社会を構築していく中で重要です。そのために、湖東高校では、少数派（マイノリティ）である人々が差別や排除の対象にならないように、また、自分たちが多数派（マジョリティ）になった時に少数派を排除しないように考えることを重要視します。研修を通じて多数派になった人々が、少数派はどのような気持ちでいるのかを実感していきます。さらに、マイノリティとマジョリティが各々の「ちがいを」肯定的に受け入れる姿勢を持つことが大切であることにも気づいていきます。皆さんと一緒に大きな輪を作り、互いが見えるようにしていきましょう。



## \* こどもへの学習支援

学びたいという気持ちのある、すべてのこどもへの個別学習支援を高校生が行います。

昨今の社会問題であるこどもの貧困は、学力格差と貧困格差が連動しています。貧困世帯のこどもは塾に通えない、外国籍のこどもが言葉の問題から勉強したくてもできないという状況があります。格差をなくし、さらに貧困世帯、外国籍のこどものみならず、すべてのこどものために、湖東高校「総合的な探究プロジェクト」の1つとして、学習支援ボランティアがあります。浜松市神久呂協働センターにて「コトバシヨ」の名称で生徒が学習塾を運営していきます。

### コトバシヨ募集チラシ



## 湖東高校の学び

何も知らないから学ぶのではなくて、何かがわかり始めてきたからこそ学ぶ。だから、楽しい。それが湖東高校

湖東高校では、職員の授業改善研修も行いながら対話による知識構成型授業を実施しております。賢くなるためには、こうすれば良いというような簡単な答えがあるわけではありません。

人はそれぞれ、とにかく違いますから、みんなに当てはまるようなコツ、秘訣があるわけでもないんですけれども、たくさんの方の賢い在り方をたくさん集めてみると、そこに、大まかな傾向が見えてくるのも確かです。湖東高校は探究を推進します。

